



KUMAMOTO

GREEN Rotary-Club

The Weekly Bulletin

Kumamoto green rotary-club district 2720 rotary international



人類に
奉仕する
ロータリー

2016~
2017年度
テーマ

国際ロータリー

「人類に奉仕するロータリー」

R.I. 会長 ジョン・F. ジャーム

地区方針

「学ぶ・守る・育てる・未来へ向けて」

R.I. 2720 地区 ガバナー 前田真実

熊本グリーンRC

「ロータリーを育て行動しよう」

熊本グリーンRC 会長 河島一夫

■例会日：毎週月曜日 18:30~19:30
■例会場：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル
TEL096-326-3311

■創立：平成元年2月22日 ■会長：河島一夫 ■幹事：葉高源 ■会報担当：長野義文
■事務所：熊本市中央区城東町4-2 熊本ホテルキャッスル内
TEL096-354-4521 FAX096-354-4053 E-mail:kgrc@serc2720.org

国際ロータリー
第2720地区

熊本グリーンロータリークラブ週報

【2016年10月3日】

第1231回

2016-2017年度 第11回

【例会】

1. 開会・点鐘 18:30
2. 食事と交歓

「君が代」

「友と語ろう」(熊本グリーンRCの歌)

来訪者紹介 (河島 一夫 会長)

卓話者

熊本交通運輸(株)代表取締役
住永金司 氏(熊本江南RC会員)

友情の握手

会長スピーチ (河島 一夫 会長)

10月になりましたが、毎日暑い日が続いています。今日の卓話は益城で商工会議所の会頭をされておられる熊本交通運輸グループの住永金司社長に震災での取り組みについて話していただきますが、ここに持ってきました季刊誌「KUMAMOTO16号」の震災号にガバナーエレクトの永田壮一さんが、震災について書かれていらっしゃるので、今日はその一文を紹介したいと思います。永田さんのような大きな個人病院が完全に被災してしまうことは大変な事だと思いました。ガバナーどころではないとも思いました。文章の最後の一部分を読みませう。「救急隊のレスキュー隊

隊に救出を依頼しなければ患者さんに危険が及ぶ。患者さんの無事と従業員の無事を祈りながらレスキュー隊の到着を待つ。レスキュー隊はすぐに到着した。山口や福岡のDPAT、県外からの消防隊隊員、レスキュー部隊、『私たちはこういう素晴らしい人達に守られている』と実感した。そして涙が出た。しばらくして残っていたうちの最後の患者さんが運び出されてきた。皆から歓声上がる。(中略)副院長も看護師長、師長、看護師、事務長始め事務スタッフもそれぞれ家族や子どもがいるというのに献身的に病院に尽くしてくれる。本当にありがたく感謝しかない。

搬送が終了したのは四時を過ぎていたと思う。搬送が終了すると同時に、とてつもない虚無感が襲ってきた。足が動かない。まるで、海の底に沈んでいるような錯覚を感じている自分がいる。『私の今まで培ってきた医者としての生き様は何だったろう』『熊本に帰って三三年、私が造ってきた病院はどうなるだろう』『家族は、スタッフは、組織は、医師会は、益城町は、熊本は?』(後略)

幹事報告 (栗山 義則 会員)

■ 例会変更・取止め

<変更>

【熊本グリーンRC】

10月17日(月)の例会は、観月例会のため、同日18:30より水前寺公園「泉里」にて行います。

卓話予定

- 【10月】 「経済と地域社会の発展月間・米山月間」
- 17日 観月例会 (於：水前寺公園「泉里」) ★例会変更
- 24日 「熊本地震後の景気動向と先行きの展望」
日本銀行熊本支店 支店長 竹内淳一郎 氏(熊本RC会員)
- 31日 「漱石周年事業について」 漱石倶楽部 会長 和田 正隆 氏

【熊本グリーンRC ホームページアドレス】 <http://www.kg-rc.com/>

【熊本西RC】

10月18日(火)例会は、第4グループIMのため、10月20日(木)17:00よりメルバルク熊本にて行います。

【熊本中央RC】

10月21日(金)の例会は、チャリティゴルフコンペのため、同日7:45より、グランドチャンピオンゴルフクラブにて開催します。

【熊本'05福祉RC】

10月25日(火)の例会は、職場訪問のため、10月29日(土)09:20より、熊本かがやきの森支援学校にて行います。

【熊本りんどうRC】

10月27日(木)の例会は、夜例会を通常例会にもどし、同日13:00より熊本空港エミナースにて行います。

出席報告

(山下 佳介 会員)

	会員総数	22名	出席率
10月3日	出席免除会員数	1名	42.86%
	計算上会員数	21名	
	出席会員数	9名	
9月19日	前回の出席会員数		休会
	メイクアップ数		
	修正出席会員数		
メイクアップ済み会員及びメイクアップ訪問先			
なし			

委員会報告

①「ロータリーの友 10月号」の内容説明
報告者：田中純司クラブ会報委員長

②「10月卓話スケジュール」案内
報告者：仙波洋八クラブ管理運営委員長

スマイル

(栗山 義則 会員)

●河島 一夫 君、葉 高源 君
「卓話に熊本江南RCの住永様で“地震”の対応についての話だそうで、よろしくお願ひ致します。」

●山下 佳介 君
「いつもフェイスブックではお見かけしてませんが、お会いするのはお久しぶりですね。今日の卓話楽しみにしています。よろしくお願ひします。」

●上田 観一 君
「本日の熊本江南RCの住永金司様の卓話楽しみにしてきました。宜しくお願ひ致します。」

●仙波 洋八 君
「住永金司 熊本交通運輸社長のご来訪と卓話に感謝します。益城大地震の対応、大活躍で大変な毎日をお過ごしのことと思いますが身体に気をつけて頑張ってください。」

●栗山 義則君、長野 義文 君
十時義七郎 君
「本日の卓話者、住永様に心から感謝します。」

10月卓話スケジュール
「経済と地域社会の発展月間・米山月間」

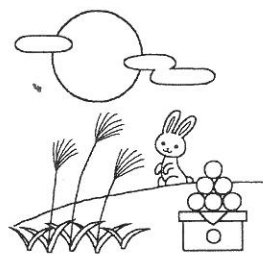
3日 「熊本地震対応について」
熊本交通運輸(株) 代表取締役
住永 金司 氏 (熊本江南RC会員)

10日 祝日 (体育の日)
定款第6条第1節に基づき 例会取止め

17日 観月例会
(於：水前寺公園「泉里」)
★例会変更

24日 「熊本地震後の景気動向と先行きの展望」
日本銀行熊本支店 支店長
竹内淳一郎 氏 (熊本RC会員)

31日 「漱石周年事業について」
漱石倶楽部 会長 和田 正隆 氏



3. 例会プログラム

紹介者：仙波 洋八会員
卓話者：熊本交通運輸（株）
代表取締役 住永金司 氏（熊本江南RC会員）
演題：「熊本地震対応について」



4. 閉会・点鐘

例会終了後、定例理事会開催。

ナイジェリア保健相がロータリーを訪問：ポリオへの対策について語る

7日（金）、ナイジェリアのアイザック・アデウォール保健大臣が、国際ロータリー世界本部（米国イリノイ州エバンストン）でロータリーリーダーと会談し、ナイジェリアでの最近のポリオ発生による感染拡大を食い止めるための戦略について説明しました。最近、ナイジェリアでポリオの症例が確認されたことにより、同国は再びポリオ常在国リストに追加されることに。ポリオを再び一掃するために政府として全力を尽くしていると、アデウォール保健相は述べました。

「今回の発症は、私たちにとって大きな打撃です。発症者が1人たりとも出てはなりません。こうなってしまったことは非常に残念ですが、わが国はポリオ撲滅に新たな気持ちで取り組んでいます」と語るアデウォール大臣。ナイジェリア政府が今回の発症を国の緊急事態ととらえていることも加えました。報告された3件の症例はいずれも、最近までボコハラムの統治下にあったボルノ州（同国北部）で確認されたものです。今回の発症を引き起こしたウイルスは、この地域に5年間存在し続けていたと、世界保健機関（WHO）は推定しています。

ポリオ発症が確認されると、政府はボルノ州に緊急対策チームを派遣し、約100万人の子どもを対象に徹底した予防接種キャンペーンを実施。アデウォール大臣によると、キャンペーン1日目に85万人以上にワクチンが投与されたそうです。また、キャンペーンの効果を高めるために、経口ワクチンと不活化ワクチンの両方が使われています。ナイジェリア政府はさらに、ボルノ州でのほかの問題にも取り組むタスクフォースを立ち上げました。きれいな水、衛生設備、医療、栄養の不足、さらにはボコハラム統治による住民の心理社会的障害など、この地域は多くの問題を抱えています。「ボルノ州の復興は、わが国の優先」と保健相は述べます。

ロータリーとポリオ撲滅活動のパートナーの援助の下、ナイジェリアでは12月までに6000万人の子どもにワクチンを投与することをめざす大規模な予防接種活動を開始。高リスク地域とチャド湖沿岸での対応をサポートするため、ロータリーからも850万ドルが投入されました。カメルーン、中央アフリカ共和国、チャド、ニジェールといった近隣諸国も、ポリオのない現在の状況を維持するため、予防接種活動の調整を行っています。これらの国とナイジェリアを含む5カ国は、各国の国境に沿って予防接種を行う「囲い込み式」の予防接種活動を行っています。「1国の力では無理です。アフリカ全土からポリオをなくすには、ほかの国との協力が欠かせません」

2015年、ナイジェリアでポリオ発症数が1年間ゼロだったことを受け、WHOは同国を「ポリオフリー」（ポリオのない国）と宣言し、ポリオ常在国リストから除外しました。しかし、この達成の後で同国はポリオに力を注ぐことをやめてしまった、とアデウォール保健大臣は認めます。「喜びのが早すぎたのです。しかし、今回の発症で目が覚めました。ポリオが二度と発生しないよう、私たちは2倍の努力をささげます」ナイジェリアを常在国リストから再び除外するために努力を継続させる必要がある、とアデウォール氏は加えます。これには、国内、国外からの資金投入、何千人という保健従事者、予防接種を受けなかった子どもを見つけるための戦略などが含まれます。同国政府は、緊急対応のために3億ドルを配分しました。

「ポリオ撲滅は、国のプライドと栄誉」と保健相。「国民、そして世界の期待を裏切らないように、全力を尽くします」

ナイジェリアを常在国リストから再び除外するために努力を継続させる必要がある、とアデウォール氏は加えます。これには、国内、国外からの資金投入、何千人という保健従事者、予防接種を受けなかった子どもを見つけるための戦略などが含まれます。同国政府は、緊急対応のために3億ドルを配分しました。

「ポリオ撲滅は、国のプライドと栄誉」と保健相。「国民、そして世界の期待を裏切らないように、全力を尽くします」

最優先事項

ポリオ募金を推進する

5つのテーマ

アメリカからはポリオがなくなり、野生株のポリオウイルスによる感染が一度も終息していないのはアフガニスタンとパキスタンを残すのみです。ポリオ根絶にあと一歩まで近づいているのなら、なぜまだ15億ドル(1530億円)も必要なのでしょう？

クラブまたは地区のリーダーとして、こういった質問をクラブや地域社会の会員から受けたことがあるかもしれません。ポリオ撲滅プログラムにおける最大級の民間支援者はロータリーであることを考えると、ロータリーが今後も能を取ることにはプログラム最終段階において非常に重要なことです。募金やアドボカシー活動(支援のよびかけ)がこれまでと変わらず必要であることをクラブや地域社会の会員に説明するためのテーマを以下にご挙げます。

① すべての子どもにワクチンを

ポリオを撲滅するためには、野生株のポリオウイルスによる感染が一度も終息しない最後の2カ国であるアフガニスタンとパキスタンでまだワ

クチン接種を受けていないすべての子どもにワクチン接種することに力を注がなくてはなりません。どちらの国でも、これまで一度も接種を受けていない子どもたちに予防接種を受けてもらうために、また高品質のワクチン接種キャンペーンを実施するために、国際社会の支援を必要としています。ワクチン接種キャンペーンにおける最大の支出はワクチンではなく、輸送や人員配属なども含めたロジスティクスです。

② 「ポリオフリー」に保つ

同時に、その他すべての国々を「ポリオフリー」(ポリオがない状態)のまま保たなくてはなりません。それには、紛争や人口移動、弱体化した医療制度、またはその他の理由により、まだ高リスク国のままである60カ国も含まれます。2015年には、ウクライナで2名の子どもにまひ型ポリオの診断が下され、感染の拡大を防ぐためにウクライナは500万から600万服のワクチンを接種するための緊急プログラムを実施しなければなりません。

③ 継続してサーベイランスをおこなう

世界のその他の地域でポリオウイルスを確実に根絶やしにするためには、サーベイランスの強化が必要不可欠です。これは、急性弛緩性まひ(急に現れる手足のだらんとしたまひ)のあらゆる報告を確認し、ポリオウイルス検出のための水質検査を実施することを意味します。ポリオを撲滅してもまひを伴うのは200件中1件のみです。つまり、まひを起した子どもが病気に感染しているけれども症状が出ていないだけかもしれなのです。ポリオウイルスは便によりもっとも容易に検出され、もっとも容易に拡散するため、研究者は下水道や、下水道がない所では河川やふたをしていない水路からサンプルを採取します。ロータリーはポリオを特定できる145カ所の研究所のネットワークをパートナーとともに作りあげました。今年、医師官と環境サーベイランス地点を追加し、ポリオ検出を強化します。

④ ポリオフリーの認定を達成する

ある発症例からポリオ発症が途絶えても、それから3年間発症がないことが認められなければ最後の発症例とはなりません。ですから、今年最後の発症例があったとしても、ポリオ撲滅プログラムは2019年まで資金とボランティアを必要とします。これには15億ドル(1530億円)がかかります。

⑤ 再発を防ぐ

根絶が確認されるまで、再流行のリスクがあります。全世界的にポリオが再流行した場合、10年以内に、1年の発症件数が最大で20万件にもなります。

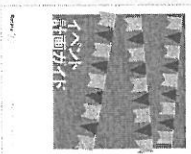
⑥ 支援をよびかけよう

自分ができること 今日からはじめよう
ロータリーについて興味がある人、またはほかの会員制団体とどこが違うのか知りたいと思っている人、に、会員候補者用のパンフレットを渡して欲しい。5冊で1.25ドル(約127円)、異なる地域向けに13バージョンあります(日本を含む)。shop.rotary.orgで購入可

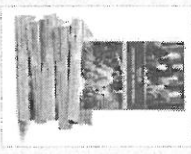
リソースガイド



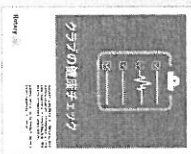
自分ができること 今日からはじめよう
ロータリーについて興味がある人、またはほかの会員制団体とどこが違うのか知りたいと思っている人、に、会員候補者用のパンフレットを渡して欲しい。5冊で1.25ドル(約127円)、異なる地域向けに13バージョンあります(日本を含む)。shop.rotary.orgで購入可



イベント計画ガイド
ロータリーのことを理解してもらうには、ロータリーを体験してもらうのが一番ということもよくあります。この新しい手引きには、有益で楽しいイベントを成功させるためのアドバイスやリソースが掲載されています。クラブドリソースセンターで入手可



「世界でよいことをしよう:人びとの心に触れた100年!」
ロータリー100周年記念誌である本誌は、財団設立からの一世紀、および設立の立役者たちに関する懸念的な逸話を教えてくれます。shop.rotary.orgで購入可



ロータリークラブの健康チェック
クラブの問題点を特定し、会士や地域社会にとってクラブが重要な存在でありつつけるために変革を起すお手伝いをします。詳しくはこちら